

# みんなでつくる! 未来の学校

## 第四中学校区小中一貫校を 考えるワークショップ

ニュースレター  
**Newsletter** Vol.3  
2022/6 発行



### 第3回「学校整備を考える①」

2022/3/10 (水) 19:00~21:00

オンライン

参加者：29名

発行元：門真市教育委員会

### 講演：新しい学校整備とは

#### 小中一貫校の特徴について

中一ギャップへの対応  
中学生になると学力低下、不登校、いじめの件数が増えるなど中一ギャップと呼ばれる現象が生じ、学習の理解や楽しさの減少につながる問題を引き起こしています。小中一貫校は、小学校、中学校の急激な環境の変化をなだらかにする仕組みとして提案されたものです。

9年間の長いスパンでの指導  
9年間の長いスパンで計画的、系統的、体系的に一人の子どもの指導ができます。9学年の年齢差のある子どもたちが一緒に活動することで、関係性や活動の幅が広がり、人間性や社会性を育てることができます。小中学校が混ざり合うことで、教員の意識改革も起こっています。

多様で新しい学びの環境づくり  
多様な先生と小学校の先生が一緒にチームティーチングをするなど、小中一貫校の特性をいかしたきめ細やかな対応が可能となります。また、ふるさと教育や防災教育をどのタイミングで学ばせるかなど、学校の色に応じてカリキュラムを工夫していくこともできます。

#### 小中一貫校の空間のつくり方の工夫

交流を促す空間  
教室は単調で画一的な配列ではなく、空間の多様性や高機能化、連続性などが大切になります。ゾーンなどで分けず、一つの建物の中に小学生と中学生が一緒にいて、出会う機会をつくっていくようにしています。

さまざまな学びを促す空間  
教室だけではなく、学校全体が学びの場、生活の場になっていくことが重要です。さまざまな学び方に合わせた空間、機能やゆとりを活動に応じて変化できるような工夫も必要となります。

学校と地域をつなぐ空間的な工夫  
地域の人がいっでも自由に入ることができる場所、チェックを受けて入ることができる場所、入ることができない場所など、セキュリティを3段階に分けるなどの工夫があります。

#### 質疑応答

Qこれまでの改善点はありますか？  
さまざまな学びが必要になります。それに対応した場をつくっていくことが求められます。教室だけではなくオープンスペースをつくることで増えていますが、一方で、なかなか使ってもらえない現状もあります。初めて見る場所をどう使ったらいいのかを、先生、地域、子どもが議論しながら活用方法を考えていく必要があります。

Qセキュリティが先生の負担になるのでは？  
学校と地域の関係性によるでしょう。昼間から地域の人々が学校にいて、地域の人々が鍵を管理しセキュリティを高めている事例もあります。学校の安全を地域が守る、地域主導で考えていけるといいのではないのでしょうか。ガードマンに依存するのではなく、地域と学校の関係が成熟していくことで安全性は高まっていくでしょう。

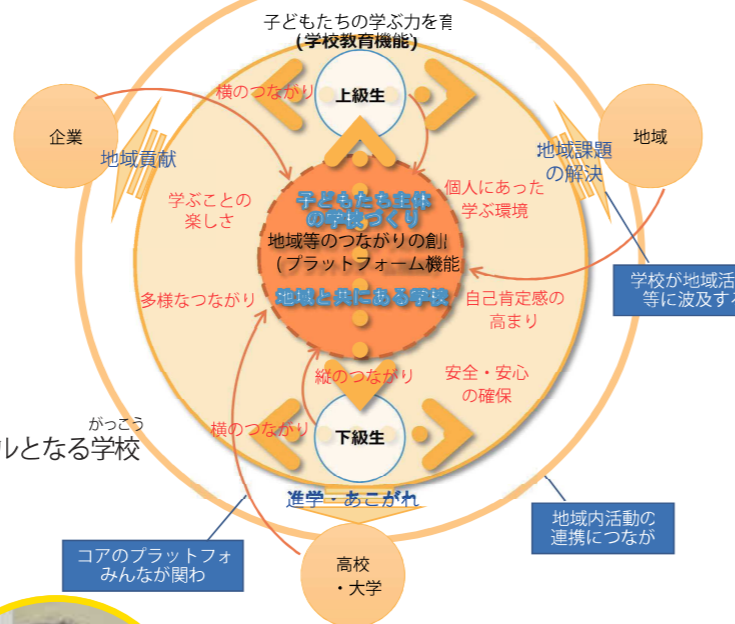
#### 自己紹介

第3回は、2回目のオンライン開催となりました。どんな人が参加しているかお互いを知るため、グループに分かれて、お互いに入りの本を紹介し合いながら自己紹介をしていきました。学校づくりを考えていくためには学びはかせませません。多種多様な本を知ることも学び合いのきっかけになります。



#### 学校づくりのコンセプト (案) について

これまでのスクールツールや教職員ワークショップなどで話し合ってきたことを踏まえとりまとめた、門真の新しい学校づくりのコンセプト (案) を説明しました。



#### 新しい学校像

子どもたちの将来の夢を育み発展させていく学校づくり

#### 新しい学校づくりの基本方針

- 1 子どもたちの学ぶ力を育む、子どもたち主体の学校
- 2 地域と共にある学校
- 3 「教育からまちを変える」まちづくりのリーディングモデルとなる学校
- 4 子どもたちの安全・安心が確保された学校

#### ゲスト紹介

大阪さしりつたいがくめいよきょうじゅ よこやましゅんすけ  
大阪市立大学名誉教授の横山俊祐氏をゲストにお招きし、各地で実践されている小中一貫校に関する先進事例を交えて、その特徴や建築における工夫をお話いただきました。また、地域と学校が連携して実施している取り組みの事例もお話いただきました。



#### よこやま しゅんすけ 横山俊祐

1985年より2020年まで、熊本大学工学部建築学科助手、大阪さしりつたいがくめいよきょうじゅ大阪市立大学大学院工学研究科教授などを歴任。多様・自律・連関をキーワードに教育施設・住宅・福祉施設などを対象とした建築計画学研究に携わる。

#### 守口市さつき学園の事例



交流を促す広い廊下と多目的スペース



フリースペースに実験器具などを設置



地域の人がいっでも自由に使える部屋